

りょう ふう

涼風



頭の病気で倒れないために

No.19 : 2005年春号

医療法人社団 涼風会

佐藤脳神経外科



アオサギ その②

眼に青葉、山ホトギス、初鯉。桜の散りゆく姿にいさぎよく生きる心が与えられ、緑したたる若葉に前向きな力が引き出される此の頃です。みなみなさま、この涼風とともに元気でいっしょにがんばろうね。

サギ太くん、その後です。アオサギって、日本にいるサギの仲間では最大で全長90~98cm、翼開長160~175cmにもなる怪鳥。コウノトリ目サギ科で、樹上に枯枝・枯草で大きな皿型の巣を作り、一夫一妻で年に一回4~9月に繁殖する。ゴアツという鳴き声で雨を呼ぶ山下達郎の歌に登場するあの伝説の“ヘロン”がこの鳥で、アジア各国では崇拜されているという。野生なのは貪欲で、小さい魚は嘴で挟んで、大きなものは串刺しに突き刺して捕える。この当り松永湾沿いには干潟もまだまだ残っており、餌場はそこらじゅうにあるはず。なにも危険を冒してまでうちの庭にこなあでもええのに。

うちのサギ太は、一昨年の夏生まれで今2.5歳くらい、雌雄同色で区別はつかないけどたぶん雄だと思う。幼鳥時代には全体がくすんだ色合いだった。しかし、この春、あっと驚く美しい成鳥になって庭にもどってきた。夏羽となり、頭頂には白い帽子、黄色い瞳、額から後頭部にかけて青黒い帯状眉班、後ろ頭には立派な冠羽のひもを垂らす。嘴は赤黄色く、顔から頸部は乳白色、青い縦班ネクタイと翼角の藍色ワッペン、体は風切羽の黒と雨覆羽の白とでコントラストされた艶々した羽で覆われ、少しピンク色した長い足で立っていた。凜としたその姿は壮観で魅了されてしまう。

いっそうのこと餌付けでもしてみようか。サギ太との出会い、生態系の中での偶然の巡り合わせ、異質なものが共生して一緒に生きてゆくのがいい。楽しんで生きるためには相手が必要、相手を生かすには多少の犠牲も払わなきゃならんしできる我慢はせんといけんなあ。

医療法人社団 涼風会

佐藤脳神経外科

〒729-0104 福山市松永町5-23-23
tel 084-934-9911 fax 934-9910



♪脳神経外科・神経内科
放射線科・リハビリテーション科
♪通所リハビリ デイケア 帆かけ舟
♪脳ドックセンター“3次元立体写真館”

涼風会メニューのご紹介 ⑬

託児所



ごはん、おいしいよ!



なにを
がいているのかな?



えほんだいすき♡



昨年の6月から、スタートした託児所も、早いもので、もうすぐ1年を迎えます。最初は寝てばかりだった子ども達も成長し歩いたり・ハイハイしたり...もう、目が離せません。

保育所とは違い、少人数なので、家庭的な保育を目指して、毎日を送っています。

昨年は、涼風まつりにも参加しましたが、今年は、デイ・ケアのおじいちゃん・おばあちゃん達と花見に行く予定です。

春になったら、散歩にもでかけます。大きなうば車に乗っている姿を見かけたら、声をかけてくださいネ。

アンパンマンと
「こんにちわっ!」



ミルクのじかん



きもちいいなあー

